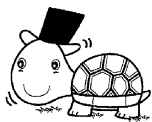




三輪さやか



きらめき亀山21 かめさん

きらめき亀山21企画会議
amani@helen.ocn.ne.jp

第60号

2006年3月21日発行

目次:

第6回市民交流会 雨天の中盛大に	1
市民交流の日 市民参画講演会質疑	2
KIFAMIGO2006 交流会実行委員の反省	3
今後の行事予定 ミツマタ祭り	4

第6回市民交流会 雨の中 関小学校に集う!

昨年9月から関地区からの委員さんも交え延べ9回の実行委員会を開いて計画準備してきた第6回市民交流会、関小学校の朝は雨で始まりました。

正面には200インチの大型スクリーンと発言者を映すテレビカメラとプロジェクターと音響装置。これらは実行委員のIさんの持込です。体育館の周囲の壁には25団体のパネルがズラリ。観水会からは地域に埋もれたお宝、地藏さんや灯ろうの何十という写真と絵。棚田保存会のブースは年毎に芸術性を高めた和紙作品、食生活改善推進協議会からはおいしそうな健康食の現物まで展示されました。

地域の活性化を考える会(市民のショップねこの館)からは手を振りお辞儀する巨大ねこの「とらちゃん」も登場。大雨のなか皆さん来てくれるだろうか? 実行委員一同祈るような気持ちの中、次第に会場の人も増えてきました。

受付によると150名に達したとか。最初は関中学のヒューマンライズの力作、いじめをテーマのビデオ放映です。谷本君のドラえもんを引用したわかりやすい解説(ジャイアン、のびた、スネオ)でいじめるもの、いじめられるもの、逆らえず同調するものの3者の心のうちが誰にも理解できる素晴らしい作品でした。

その後、「地域」「子ども」「伝統」「外国人」「食べもの」と5つの会場に分かれて話し合いです。グループあたり20人程度の程よい人数で話がはずみます。

昼食班手づくりのおいしいおにぎりも配られました。時を忘れるような熱い話し合いに時間ももっとほしい...誰もが感じました。

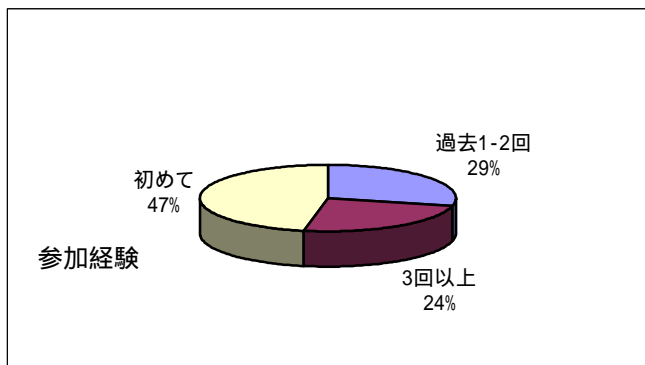
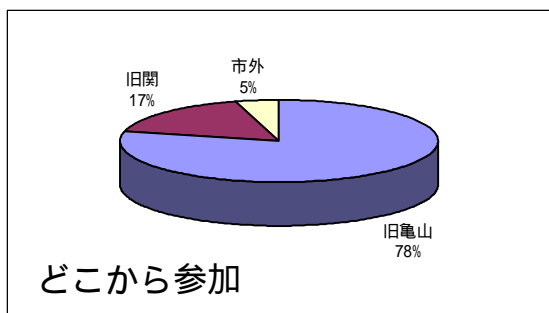
体育館に戻り全体発表、カメラが発言者や発表模造紙を追い大型画面に映します。今回初めてのハイテク活用です。時間に終われるように最終プログラムの各パネルでの交流タイムです。あちらこちらに人の輪ができました。

今回関地区で初めての市民交流会、2割近い人が関からの参加でした。それに予想以上に多く約半数が初めての参加でした。こんな場があったのか。有意義な話し合いだった。アンケートでの声も好評でした。毎月21日開かれる「きらめき亀山21市民交流の日」は年に一度の市民交流会を祭りに終わらせること無く意見を行動に移し実現していく場でもあります。ぜひ皆さんの参加をお待ちしています。
事前申し込み不要、休祭日関係なく毎月21日 市役所3階の大会議室 夜19:30~21:00です。



2006年4月21日(金)
19:30~21:30
「市民交流の日」

どなたでもご参加いただけます。





定例市民交流の日 2006年2月21日

テーマ 「新しい通訳サービス」NPO法人 愛伝舎 坂本さんより

いろんな場での通訳の必要性は全国的な問題になっています。県の委託事業コミュニティビジネスとして鈴鹿にあるNPO法人愛伝舎を紹介します。始めたきっかけはブラジルに3年間滞在中にポルトガル語を勉強したので帰国後、活かしたいと思い先生になりました。アパートを追い出されるなどブラジルの子どもの悩みに気付きました。これからの日本社会はこれではいけない、放っておけないと思いました。県の国際室の募集で起業を決意し行政書士も巻き込み去年から活動しています。電話での通訳サービスは固定料金で病院でも使える携帯電話を使い鈴鹿市の保健所でも使っています。保育園等でも使えます。外国で子どもを産む不安や子育ての悩みから言葉の壁を減らせたい。通訳無しで病院へ行ければ外国の人は安心できます。専門用語は講習を受けて、わからない言葉は別の表現でお願いしています。始まったばかりでたくさん利用してくれるとありがたい。愛伝舎は事業型NPOで4人が有給。行政書士、通訳、翻訳もしています。子ども達に絵本を贈る運動もしていてポルトガル語の絵本等、集めています。

反応は？

子どもが病気の人は喜んでいますが、日本語が話せても症状を言い尽くせない人も多く通訳が医療用語をわからないこともあります。日本語が話せる仲間は仕事を休めないで別の通訳を探す外国人もいるし零細企業では必要な場合もある。亀山でも利用できます。他の事業の依頼は行政書士への依頼など。仕事の紹介、ビザ延長。呼び寄せ手続き。戸籍翻訳。鈴鹿では中小規模の会社が多く通訳がない場合があります。

NPOだけで生計成り立つか？

私は学校（教師）収入だけ。他の人はNPOから。他のNPOよりは財政的に順調なスタートだと思う。

その他参加者の声

行政が圧力かけないと企業はなかなか動かない。250人のフィリピン系外国人が地域にいる。日本（亀山）にいい思い出が無いと次が来ないと企業に言ったら曲がりなりにも協力してもらっている。儲けを優先する派遣企業の実態には親会社が厳しいからでもある。親会社が金を出さないと外国人は救われない。愛伝舎のケースを参考に亀山での活動のこれからは活かしてほしい。



電話通訳の装置を実演

せんだいみやぎNPO 加藤さんの講演から

盛況だった3月3日の市民参画の講演会（NPOについて）での質問に対して加藤講師から回答がありました。質問：「ボランティアの定義というものはあるのか。今は有償ボランティアという言葉がありお年寄りには無償でないとダメという方もみえて、意見がわかれています。」

回答：そうですね。皆さん、これで困っているようですね。もともと有償ボランティアという言葉は、一種の歴史的な過渡期の用語かと思えます。在宅の介護や介助のサービスが貧しかったわが国で、20年前から家事援助団体がたくさん生まれました。それらの団体は、ボランティアをすることが目的なのではなくて、必要な社会サービス（在宅介護・介助の生活支援サービス）を作り出そうとしたのです。有料のサービスを低賃金だけでも有給のヘルパーが担うという新しいサービスを生み出したのです。だからこれは、ボランティア精神（一種の起業家精神、自発的な精神）が生み出した新しい社会サービスなのであって、日本で普通に理解されている社会奉仕型ボランティア活動ではないのです。そのサービスの必要性が彼女たちの活動によって証明されたからこそ、2000年4月から介護保険制度が誕生したのです。その市場にコムスンはじめ介護企業が一気に参入してきたのです。決してビジネスの領域にNPOが参入したのではないですよ。

ということで、いわゆる社会奉仕型ボランティア活動以外の市民活動もたくさんあるという事実にも気づいてください。あとは、活動する人がどの活動をするか選べばいいだけです。選択の問題と考えてくださいね。

その他詳細な回答が来ています。

きらめき亀山21と亀山市役所市民課HPに掲載してあります。





KIFAMIGO2006 ふれあい広場

亀山国際交流の会

2006年3月5日(日) 亀山市青少年研修センターに市内外に在住する外国人を交え約100人の市民が集まり交流会が開かれました。今年は三重大学、鈴鹿国際大学の留学生も応援に駆けつけ大変に賑やかな交流会となりました。

はじめに小学生9名、中・高校生から社会人たち9名、6カ国18名の外国人による日本語でのおはなし会が開かれました。日本へ来て楽しかったこと、辛かったことや習慣の違いなどで戸惑ったことなど貴重な体験談を聞くことが出来ました。

お昼は参加者それぞれが持ち寄った料理で交流パーティーが開かれ、普段口には出来ない各国の料理に舌鼓を打ちながら、熱心に料理の名前だけでなく作り方に耳を傾け、あちこちで食文化の交流が進められました。

午後からは参加者がグループに分かれて留学生の皆さんの指導で中国のいろいろの遊びを楽しみ、最後に大人や子供入り混じっての綱引きとかビンゴゲームで大いに盛り上がりしました。

日頃交流の少ない外国人たちから話を聞き、また料理を通して交流ができ、KIFAの目指す多文化共生社会の実現に向け貴重な一日となりました



おはなし会参加者の皆さん



ふうせんゲーム

第6回市民交流会を終えて 実行委員からの声

初めてファシリをさせていただいた。時間が足りなかった。発表者に自分の至らないところを助けていただいた。市民の力はすごいと感じた。

雨が降っていたので、駐車場が大変であった。

ファシリは初めてであった。今回は成功だと感じた。大雨の中で150人いたのは良かったし、初めての参加者が多かったのも良かった。

関の方がたくさん来ていただいた。子どもの分科会は、参加者はとても思いのある方が多かった。

今回出た課題をいかに実現できるかを考えたい。

発表会の内容は、とても充実していた。今後21日の交流の日などを活用し、課題を解決していきたい受験シーズンなので、中学生の参加が少なかった。

中学校の発表はとてもめりこんだ。50才台が中心で、中学生と交流する場が少ないので力をいれたい。

雨の中、たくさん来ていただいてうれしかった。顔ぶれを見ると固定化が否めない。今後の課題である。身近なテーマだったのでやりやすかった。今後どう生かしていくかが重要であると思う。大型スクリーンは良かった。

人口比からいって関町からの参加者が多く感じた。今回初めての方に関心をもっていただいた。

中学生の発表はすばらしかった。

もう少し若い層の参加が望ましい。展示を見る時間をゆったりとったのはよかった。

分科会もスムーズに進行できた。雨の中、たくさんの参加者がみえて胸をなでおろした。食事の配膳も全体的にバランスよくできたと思う。

全体発表は、最後のグループの時間が足りなかったような気がする。

展示ブースでの交流タイムもほとんど帰る人も無く非常に良い時間を過ごせたのではないと思う。

食事の食べ残しもなく終了できて良かった。

行政の参加者に課により偏りがあるのではないかと。

企業からも来てくれると良い。



今後の行事予定

イベント名	日時	場所
ぽっかぽかの会 定例会	3月24日 19:30~	あいあい2F
こどもエコクラブ全国フェスティバル inかめやま	3月25-26日 10:00~15:00	西野公園
「きらめき亀山21」企画会議	4月1日(土) 19:30~	市役所3階 理事者控室
坂本みつまた祭り	4月2日(日) 10:00~14:00	坂本農村公園 みつまた群生地
ぽっかぽかの会 子どもお菓子作り教室	4月2日(日) 10:00~12:00	あいあい
しゃべりばKIFAMIGO	4月2日(日) 13:00~	東町1丁目 ねこの館
自然を愛する会 定例会	4月5日(水) 19:00~21:00	あいあい2階 研修室
亀山市さくら祭り 亀山城さくら祭り	4月8日(土) 10:00~	亀山城周辺
さくら名所めぐりハイキング	4月9日(日) 8:30~9:20受付	亀山城> 関観音山
亀山市さくら祭り 観音山春祭り	4月9日(日) 10:00~	関観音山周辺
ぽっかぽかの会 早川先生講演会	4月9日(日) 13:30~16:00	あいあい 大会議室
ぽっかぽかの会 アート教室	4月16日(日) 10:00~12:00	あいあい
しゃべりばKIFAMIGO	4月16日(日) 13:00~	東町1丁目 ねこの館
亀山国際交流の会 定期総会	4月25日(火) 19:30~	市役所3階 理事者控室
宿場の賑わい復活一座 定例会	4月20日(木) 19:30~21:30	市役所1階 市民活動コーナー
きらめき亀山21 市民交流の日	4月21日(金) 19:30~21:30	市役所3階 大会議室

坂本みつまた祭り 4月2日(日)開催



毎年3月下旬になると
亀山市安坂山坂本地区の奥の
ミツマタ群落がいっせいに開
花します。花期は2-3週
間、寒さもやわらぎ春芽ぶく
頃ご家族でお弁当をもって訪
ねてみませんか。
ミツマタの開花時期はその年
の気候や周期で変わります。
2006年春の開花は
3月25日頃からです。

**車で林道に入るのは
危険です。**

**絶対にお止めください。
みつまたをまもる会**

0595-85-0001
野登地区コミュニティセンター
三つ折り案内パンフ
市民コーナーにあります

市民のショップねこの館
毎日10:00~19:00オープン
連絡先090-8550-8318



編集作成：「きらめき亀山21」企画会議

この月刊新聞は毎月21日の交流会に配布され市役所市民活動コーナーや各公共施設でも入手できます。

EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>

市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/> マッホー亀山 <http://www.za.ztv.ne.jp/qtuh7aip/shimin/>

「きらめき亀山21」メーリングリスト 100名以上の参加者です。携帯でもOK

加入は「きらめき亀山21」HPより。または「きらめき亀山21」広報伊藤までご連絡ください。